

令和5年度 伝統音楽研修 実施要項

1 目的 和楽器「箏」や「三味線」の演奏法について専門的な知識や技術の修得をねらいとし、実際の授業場面で生かせる指導方法や指導内容の工夫について理解を深め、我が国の伝統音楽に関する授業力向上を図る。

2 対象 小・中学校（義務教育学校を含む）、高等学校、支援学校の教員

募集人数 20名

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1 ・ 2	12月27日(水) 9:00~12:00 13:30~16:30	「箏」の基礎的な演奏法について 「箏」の指導方法や指導内容の工夫について 「三味線」の基礎的な演奏法について 「箏」と「三味線」の合奏を通しての指導方法や指導内容の工夫について 〔講義・実習〕	実演家 菊珠 三奈子 大阪府教育センター 指導主事等

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください

4 会場 大阪府立夕陽丘高等学校（大阪市天王寺区北山町10番10号 電話06-6771-0665）

JR大阪環状線「桃谷」駅下車、西へ約500m
Osaka Metro 谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅下車、東へ約900m
近鉄線「上本町」駅下車、南東へ約1,000m

- 5 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
 - (3) 自家用自動車・バイク等は会場校に駐車できません。
 - (4) 箏爪【生田流・角爪】を各自持参すること。
 - (5) 受講者は第1回・第2回の両方とも受講すること。

6 担当室 高等学校教育推進室

令和5年度 伝統音楽研修 シラバス

3324

1 目的

和楽器「箏」や「三味線」の演奏法について専門的な知識や技術の修得をねらいとし、実際の授業場面で生かせる指導方法や指導内容の工夫について理解を深め、我が国の伝統音楽に関する授業力向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期										○	○	○			
第2期										○	○	○			
第1期										○	○	○			
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	「箏」の基礎的な演奏法について	「箏」の基礎的な演奏法や縦譜の読譜力を身に付ける。	「箏」を用いた授業づくりにおける教材（器楽）の準備や練習方法について実習する。	準備物 箏爪【生田流・角爪】 ※自身の指のサイズに合うもの
	「箏」の指導方法や指導内容の工夫について	「箏」の音楽表現の創意工夫について、指導の在り方を考える。	音楽を形づくっている要素を知覚・感受し、それらの働きの関わりについて考えることができるような授業づくりについて、指導する際の課題や指導方法を考える。	
2	「三味線」の基礎的な演奏法について	「三味線」の基礎的な演奏法や縦譜の読譜力を身に付ける。	「三味線」を用いた授業づくりにおける教材（器楽）の準備や練習方法について実習する。	
	「箏」と「三味線」の合奏を通しての指導方法や指導内容の工夫について	「箏」や「三味線」の合奏を通して、音楽表現の創意工夫について、その指導の在り方を考えるとともに、伝統音楽を指導する意義について理解を深める。	様々な演奏法に触れながら、合奏を通して、音楽を形づくっている要素を知覚・感受し、それらの働きの関わりについて考えることができるような授業づくりについて、指導する際の課題や指導方法を考える。	